

# 歯科医師臨床研修制度に おける連携型

愛知学院大学歯学部附属病院  
荒木章純

## いわゆる一人診療所

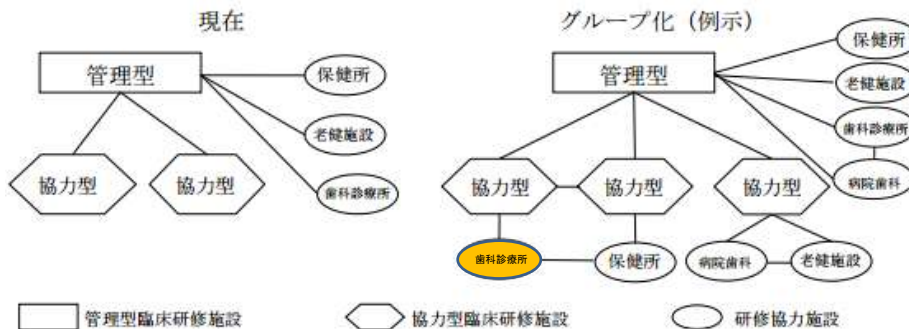
- 歯科医師臨床研修推進検討会からの依頼

歯科医師一人の施設における研修は可能か

平成19年度、歯科医師臨床研修を修了した4名に対し、愛知県歯科医師会推薦施設における2週間の研修を実施（平成20年4月）

歯科医師臨床研修推進検討会一次報告（平成20年1月22日）において「臨床研修施設等のグループ化に関するモデルケース」として報告

## 新たな臨床研修施設の指導体制の構築 (グループ化)



第5回「歯科医師臨床研修推進検討会」(平成20年12月3日)

## モデルケースにおける協力施設

愛知県歯科医師会との連携

ネットワーク研修会(平成19年度より開催)

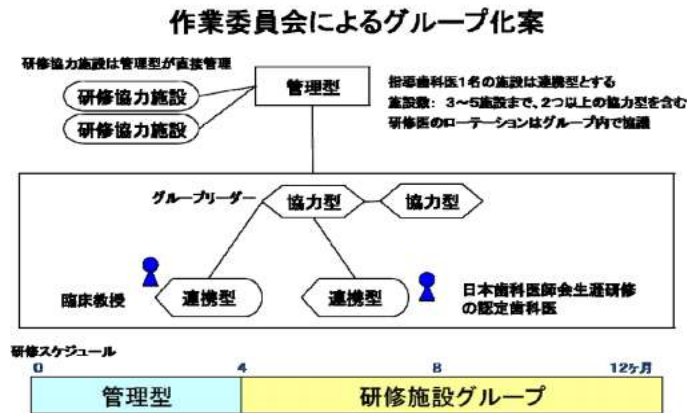
指導医講習会受講者で、協力型施設の要件を満たしていない施設の院長



**協力施設**として登録  
平成21年度 12施設

※以下、モデルケースにおける協力施設を「協力施設」とする。

# 臨床研修施設のグループ化



第7回「歯科医師臨床研修推進検討会」（平成21年8月4日）

## 協力施設 → 連携型施設

### 要件

- 常に勤務する歯科医師が1人以上であり、指導歯科医を常勤で置くこと。
- ・当該施設における臨床研修の実施を管理する、**研修実施責任者**を配置していること。なお、研修実施責任者は**指導歯科医**が兼任しても差し支えないこと。
  - ・連携型での研修は、原則として1施設1年あたり**合計5日以上30日以下**とする。
  - ・連携型は、**一つの臨床研修施設群**に属し、研修を実施する。
  - ・連携型は、プログラム責任者等から以下のいずれかに該当する旨について**推薦**を受けていること。
- 1) 臨床研修の到達目標に含まれる特定の分野について豊富な症例を経験しており、同分野について効果的な指導ができる。
  - 2) へき地歯科医療または在宅歯科医療もしくは障がい者に対する歯科診療等を実践しており、これらの項目を含めた研修プログラムの計画・実施ができる。
    - ・医療に関する安全管理のための体制を確保していること。

## 本学における臨床研修プログラム

プログラム A(30名)	通年を管理型で研修
プログラム B(106名)	5ヶ月間を協力型で研修
プログラム D(4名)	5ヶ月間を協力型で研修 研修期間のうち5日以上 30日未満を連携型で研修

## 連携型の選択

### 12の協力施設に提示

- ・協力型と密接な連絡、連携が取れること
- ・特色のある診療内容、豊富な症例があること
- ・施設の位置が、管理型または協力型に近接していること
- ・研修歯科医教育に熱意を持っていること
- ・プログラム責任者との面接(協力型施設も同席)
- ・研修内容が明確に説明できること
- ・(指導歯科医の人柄)

## 研修歯科医の選択

### 群内マッチングの方法

- ・協力型施設、連携型施設共にHPで研修内容の閲覧が可能(11月頃より)
- ・国家試験終了後から3月中に施設の見学
- ・4月上旬に面接会実施
- ・研修医、協力型の希望により、研修先決定
  
- ・プログラムDについては4名の研修医と4施設(協力型2、連携型2)との面談

## 今後の課題

- ・一人診療所の指導歯科医に対する周知の方法
- ・連携型を希望する施設がどのように協力型を選択するか
- ・施設間の連携、情報の共有の実態把握が必要(研修歯科医、施設の三者からの報告)